

第 83 回定期総会 議事録

開催日時 : 平成 29 年 5 月 13 日 (土) 10 時～

開催場所 : ホテル紅や

総会出席者 : 総数 104 名

(学校関係者 2 名 来賓 17 名 理事 32 名 会員 53 名)

司会 : 宮坂 好恵 (理事)

記録 : 笠原 文子 (理事)

小松美由紀 (理事)

第 1 部

1. 開会の辞
2. 物故者への黙とう
3. 校歌斉唱 (1 番・2 番・5 番)
4. 会長挨拶

今年は 3 つの意味で大切な年に当たる。一つは創立 110 周年を迎えること、二つ目は県下 5 番目の女学校として県立移管してから 100 年目にあたること、3 つ目はその県立移管に奔走した初代校長岩垂今朝吉先生の 100 回忌にあたることである。

周年事業が挙行できるのは、歴代の会長様方が先々を考え、財政権を維持会費新設、入会金と会費の値上げ等で当面回避して下さったおかげである。しかし、同窓会活動に対する世代間の意識の差は如何ともしがたく、維持会費の納入は初回比較すると、30%を割る。現在のような地域単位の支部組織では拡大に限界があり、方途を模索する時期が来ている。課題は多いが、周年事業には、必ず賛助の大きな力があるのが二葉の底力である。10 年誌編集は、共学後の同窓生が大きな力を発揮している。二葉につながる人脈は、大きな輪になり、周年を支えている。周年授業の成功のため、学校支援のため、同窓生の力の一層結集を切望する。

5. 学校長挨拶

同窓会からの支援に対するお礼。

今年度は 241 名の新生を迎え、全校生徒 716 名 学校職員 88 名でスタートした。

昨年度 3 月の卒業生は、国公立 41 名・私立 250 名に進学。

生徒の様子…クラブ活動は昨年、陸上やスケートでインターハイに出場。先日の地区予選でも優勝者がでていた。他、学校外活動において、フォーラムの委員長など活躍している。

学びの改革基本構想 (HP 参照) に、ご意見をいただきたい。

6. 来賓・客員・校内理事紹介

7. 来賓祝辞

客員 : 高田 潔様より祝辞をいただく。

1901 (明治 34) 年 諏訪補修女学校開設、1908 (明治 41) 年 長野県上諏訪町立諏訪高等女学校新設、1920 (大正 9) 年 県立高校に移管、1933 (昭和 8) 年 新校舎移転と変遷の中、今の同窓会の活動は校友会活動として講座などを行っていた。

当時、教師と生徒は出欠簿も通知表もない信頼関係で成り立っていた。まさに理想の教育である。現代においても、若い時は成績にとらわれず、個性を伸ばしてほしい。自由教育から

個性は生まれる。その前提には信頼が必要である。そういう生徒に育っていくよう願う。

8. 議事

議長：遠藤 克江（理事） 河西 幸子（理事）

(1) 平成 28 年度事業報告・決算報告及び監査報告・承認

【質疑】高 21 内田志づ子様より

- ①事業報告 6月3日 歴代会長会を開催しているが、その目的と組織の位置づけについて
- ②決算報告 次年度繰越金 2,480,506 円が繰越金決算額の 40%超になっていることの明示について

【応答】

- ①諮問委員会として、経緯・意義・予算・恩恵・出来事などご教示・アドバイスいただき、同窓会の計画立案等を会長が統理している。
- ②120 周年に向けて、節約をし、繰越金を残している。平成 29 年度末には会報作成に費用を使いたい。

【質疑】前会長 原 美子様より

- ①昨年度刊行の名簿について 印刷業者より無料贈呈名簿 200 冊のうち返却した分についての明示をしてほしい。

【応答】

- ①契約書において、上限 200 冊の贈呈となっていたが、保管場所・保管冊数を考慮すると、学校用 5 冊・同窓会用 8 冊・教職員希望者贈呈用 23 冊他販売用としての保管を含め、必要冊数は 50 冊妥当と判断した。
現在、名簿についてはクレームや問い合わせも多く、紙媒体での保管は慎重な取り扱いが必要と考慮する。
以上、質疑応答後、議長は事業報告・決算報告及び監査報告を議場に諮り、承認された。

(2) 平成 29 年度事業計画案・予算案・承認

【質疑】高 20 大井田佳子様より

- ①基金・積立金特別会計記念事業積立金の期中取崩額 5,798,027 円についての具体的明示をしてほしい。

【応答】

- ①記念事業積立金は平成 28 年度の取崩額 201,973 円と合わせて 600 万となっている。
内 400 万は学校への教育支援費として、以前の執行部から申し送りされている。200 万は 110 周年記念事業費へ充てたい。
110 周年記念事業費の収支決算については、会報ふたばで報告するものとしたい。

【質疑】高 21 根橋 三幸様より

- ①学校への教育支援費 400 万について、具体的に開示がほしい。

【応答】

- ①校内エアコン数の不足のため、設置に充てる費用として 400 万を支援したい。
400 万という金額は前執行部が決定。
以上、質疑応答後、議長は事業計画案・予算案を議場に諮り、承認された。

9. 創立 110 周年記念事業報告

事業概要について説明後、議長は議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。

10. その他

特になし。

第 2 部

講演：「これからのエネルギーと環境と理科教育」

講師：桑子 彰先生（元東芝 原子力関連研究所研究開発 主幹）

講演内容：別紙参照

議長：遠藤 克江

議長：河西 幸子

会長：竹花 光子